

行動や注視を促したり、注意喚起したりすることによって、学習の体勢づくりをする。c子どもの
の眩みや思いをチーフや他の子どもたちに伝える（パラレルトークを含める）。

②子どもに対する援助として、a. 行動のモデルを示す b. 発言を促すために、ヒントを出す
c. 会話のモデルを示す（モデリング） d. 正しい発音や言葉の使い方を聞かせる（リフレクテ
ィング） e. 意味や文法を広げて返していく（エキスパンション）

という補助のほかに、自信を持たせる・教師が近くにいて見守ったり共感したりすることで、安心感
を持たせる・士気を高揚させるという役割もあると考えた。

発達の段階については、次の児童の実態で詳しく述べるが、一部の児童の段階や目標を掲載してお
く。詳細については、個人事例の項で述べたい。

E男 自我の拡大・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・経験したことを繰り返す、今を楽しむ。楽しい活動を増やしていく。 ・次に楽しみがある生活を経験し、次にある楽しみへの見通しをつくる。
M子 自我を充実させなが ら自制心も育てる	<ul style="list-style-type: none"> ・これをしてから次これをするというある程度のものごとや行動の順番が 自分の頭の中で分かる。 ・先に楽しいことがあることがわかる。
U男 自我を充実させなが ら自制心も育てる	<ul style="list-style-type: none"> ・怖くない自分にもできるという見通しを持ち、挑戦していく。 ・「嫌だけどあとちょっとで終わる」「ここで我慢すれば次にこんなこと がある」といったことが少しわかる。
A子 自我を充実させなが ら自制心も育てる	<ul style="list-style-type: none"> ・好きなことや好きなものを見通して楽しみにして生活する。 ・私も欲しいけど、友だちも欲しいから少しだけ譲ってあげる、ちょっと だけなら我慢できるなど自分なりに気持ちを少しセーブする。
O男 自己客観視の芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇君は～が好きだから譲ってあげる」「〇〇くんのためにゆっくり 歩く」等、人の立場や自分の立場がわかり、見通しを持って行動する。 ・1日、単元、学期等の行事や学習に見通しを持って考えたり発言したり する。
T男 自己客観視の芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の立場がわかり「自分が～したら、〇〇君が～なる」ということが わかり、考えて行動する。

【4】児童の実態

小学部の16名の児童は、表1のような学年でクラス編成している。また、表2のような障害を持っ
た児童によって構成されている。

表1 学年別実態

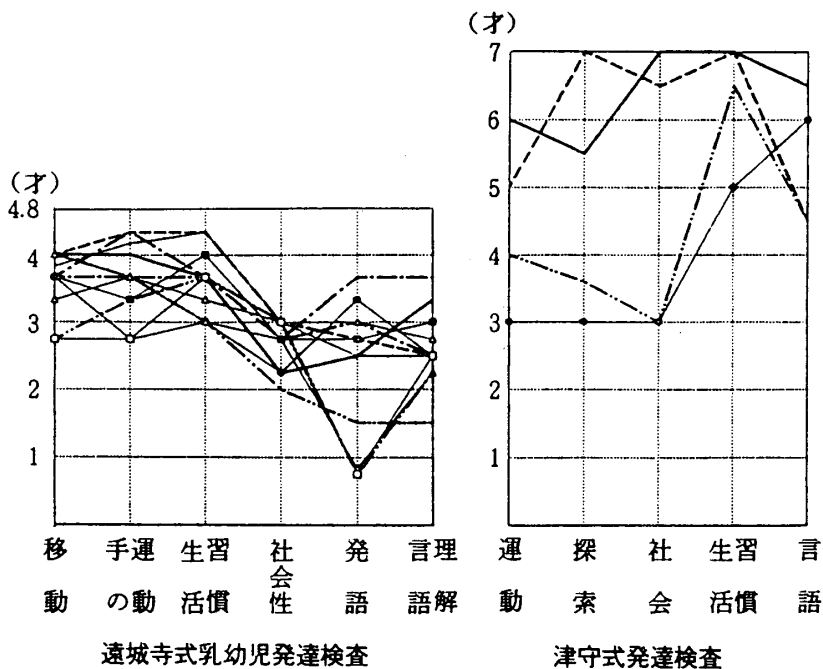
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
人数	4名	3名	2名	1名	4名	2名	16名
学級	1組	2組		3組			

表2 障害別実態

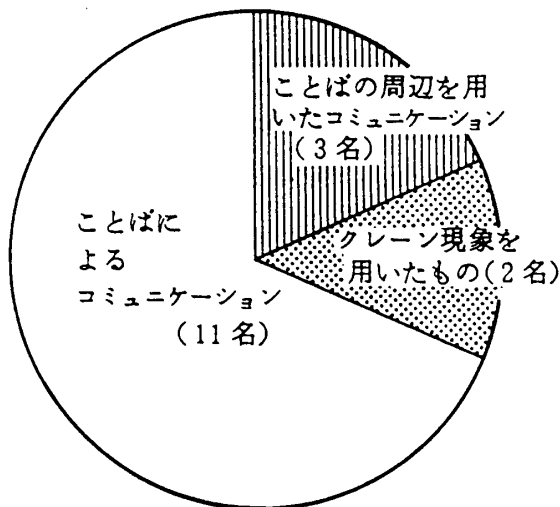
主障害	てんかん	自閉的傾向	ダウン症	もやもや病	孔脳症	水頭症	精遅神発達滞
人数	3	1	4	1	1	1	5

(1) 発達検査による実態

小学部の児童の実態を遠城寺式乳幼児発達検査と津守式発達検査でみると右図のようになる。この図から見ると、小学部の子どもたちの発達にはほぼ2歳3か月～6歳位の発達を示している。集団の中での個人差が大きく、また個人内差も大きい。運動や生活習慣の項目は概して高い数値が出ているが、言語に関しては落ち込んでいる児童が多い。生活習慣が高いのは、生活年齢効果がでていていると考えられる。



(2) 子どもたちが主として用いるコミュニケーションの手段



子どもたちが主として用いるコミュニケーションの手段

小学部の16名の児童は、主たるコミュニケーションの手段として、①イントネーションや声の大小、声の強弱等のことばの周辺の効果や表情や視線、ジェスチャーでコミュニケーションを図ろうとしている児童3名、②クレーン現象を用いて要求を満たそうとする児童2名、③聞き手に依存していて未熟でもことばによって意思を伝えようとしているものも含めて、ことばによるものが11名である。

(3) 自分づくりでめざす段階

小学部の子どもたちの発達年齢はさきほど述べたようにほぼ2歳3か月～6歳、生活年齢が6歳9か月～12歳2か月と発達に大きな開きがある。その子どもたちのめざす自分づくりの段階をまとめると右表のようになる。

めざす段階の分布図

めざす段階	人数
自我の充実や拡大をねらいたい	2名
自我を充実させながら自制心も育てたい	3名
自制心をつけていきたい	9名
自己客観視の芽生えをねらう	2名